

# 平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	総務課総務グループ
作成年月日：平成28年9月2日		

<b>施策名</b>	③町民ニーズに対応できる職員の育成 1-1-③		
<b>1. 施策の現状分析及び展開方向</b>			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	1. 町民協働に支えられる自立したまちづくり	(1) 住民自治の実現	③町民ニーズに対応できる職員の育成
① 施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職員研修センター等の利用や自主的な希望による研修への参加により、町民ニーズに的確な対応ができる能力を有する職員の育成に努めます。</li> <li>●職員の持つ多様な能力を最大限に引き出し、職員の意欲や能力を客観的、持続的に把握・評価する人事評価制度を確立します。</li> </ul>		
② 施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多様化する町民ニーズに対応するため、職員の意欲や能力を高めるための各種研修事業を積極的に推進しています。</li> <li>●公正かつ客観的な人事評価に基づく人事管理を行うため、職務行動と業務目標による人事評価制度の導入に向けマニュアルを取りまとめ、見直しを図りながら試行を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●限られた職員数で効率的・効果的な行政運営を推進していく必要があります。</li> <li>●評価の公正さが確保される制度とし、試行を通じて評価者の評価能力を高めていくことが求められています。</li> </ul>	

<b>2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況</b>								
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化		
	・効果的な行財政運営を推進していくため、定員適正化計画に基づく人員を指標としている。		成果指標 (総合計画・施策評価)	○	可能			
					不可能			
					未計測			
			代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定		
		正規職員 (町立病院含む)		可能	不可能			
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。								
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由	
		H24	H25	H26	H27	H28		
	目 標	人	131	128	127	127		126
	実 績	人	132	132	133	131		
達成率	%	100.8	103.1	104.7	103.1			
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点		
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)			施策の達成度	今後、業務量が更に増加することが予測され、多様化するサービスに対応するためには、職員の能力を高める必要がある。		
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)						
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)			B			
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)						

### 3. 施策を構成する事務事業の評価

<b>【種類】</b> 事務事業の種類	<b>【必要性】</b> 事務事業の必要性	<b>【妥当性】</b> 町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

#### ①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H27実績	H28予算	
						単位							
1	職員研修事業	(1)	総務課	職員研修受講者数	150	人	○職場外研修：町村会主催による職員研修・北海道市町村職員研修センター主催による職員研修 ○職場内研修 ○派遣研修：アカデミー・国際文化研修所・職員道外研修 ○北海道研修・自治大学校研修	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	1,571	高い	
					117	人					2,420		
2													
3													
4													

年度別施策全体の事業費合計(千円)

H27事業費	1,571
H28予算	2,420

#### ②H28に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の妥当性	町民の立場に立った質の高い行政運営を維持するため、多分野にわたる研修を積極的に実施し、職員の政策形成能力や職務遂行能力等の資質向上と意識改革に取り組んでいく。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	A	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

#### 4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性	
			A						
			B	1					拡大
			C						○ 維持
			D						縮小